

Advanced Creators 07生照明講習

2007/5/15

第一回 Advanced Creators 講習会

講師：高相、濱崎

●照明とは

- 何もない、まっさらな空間を光で彩る
- 三つの「みせる」

見せる…目で（一般的に）ものを見るための照明

光のない場所ではものや人は見えません。照明は、光を使ってものが見えるようにします。

魅せる…オーディエンス（大衆）を魅了する照明

蛍光灯の部屋でライブをしても楽しくありません。照明は、光でものを効果的に見えるようにします。（美しく/かわいく/かっこよく/自然に/激しくなど）

観せる…目で見て感じる照明

ものや人が見え、それっぽい演出をしているだけでは感動を呼びません。何を、何のために、どんなふうに表現するのかを明確にし、人の心に響かせるような照明効果をつくります。ここで人のセンスを呼び覚ますのです。

●アドバンの照明

- ライブ照明
 - ☆ 軽音楽部さん、サウンドジェネシスさん、赤平さん、近郊で活動するバンドさん など
- 演劇照明
 - ☆ 演劇部「こねこめにすたん」、他大学演劇部、都内の劇団さん など
- その他イベントの照明
 - ☆ ホールでの照明（調光卓、ピンスポット）、ダンス照明など

基本的にはアドバンで所有する機材を使っていますが、学外ではホールや施設の照明機材を使うこともあり、貴重な体験が楽しめます。

● 照明ができるまで

➤ 基本の機材

基本的な機材について、軽く説明をしておきます。基本の基本なので、覚えてください。

◇ 灯体

光源になる機材です。電球が入っていて、電力を送ると光がつきます。今回使うのはパーライト、パーカンなどと呼ばれている、ライブ照明では一般的な灯体です。アドバンには3種類のパーカンがあります。

- ・ PAR64 (500W) 一番円が大きく、全体を照らすのに適している
- ・ PAR56 (300W) PAR64 よりかは小さい円で、全体を照らすのに適している。効果照明としても使える。
- ・ PAR36 (ミニパー) 一番円が小さく、効果照明に適している。

レンズの種類や消費電力に違いがあり、用途や規模によって使い分けます。カラーフィルター（通称「ゼラ」）を入れて光に色をつけると、様々な雰囲気を作ることができます。

◇ 調光卓

光を調整する機材です。アドバンにはチャンネル数が 48ch・24ch の2つの調光卓があります。今回は ELATION SCENE SETTER48 を使って説明します。

◇ DMX

調光卓からの信号を受け取って、それに従って灯体に電力を送る機材です。仕組みが少し複雑なので、実際に使ってみることを強くおすすめします。慣れればどうってことはありません。

◇ ケーブル各種

機材同士を結線するケーブルにも種類があります。

- ・ DMX ケーブル (マイクケーブル) : 信号を伝わせるためのケーブルです。
- ・ 平行ケーブル (通称「電源ケーブル」) : 電力を送るためのケーブルです。

◇ スタンド

灯体を適した場所に設置するために使用します。3つ～4つの灯体を取り付けることができ、高さや向きを変えることができます。

➤ 灯体がつくまで

明かりをつけるにあたってやらなければいけない手順があります。その手順はスタッフの人数が多ければ、各手順同時進行で進んでいくことがあります。ここでは基本的な流れに沿って一つ一つ説明していきます。ここで説明する手順はスタッフとして動いていくために必要なものです。ここには本当に基本なおおまかな事しか書いてありませんが、まずはこれを理解して次に進みましょう。

① 灯体をスタンドに吊るす

その名の通り、照明スタンドに灯体を吊るします。基本的に明かりというものは上から照らします。自分達の機材を使う場合スタンドは必須機材の一つです。

そしてこの時に気をつけなければいけないのが安全面。

灯体にはワイヤー、針金などが付いているので必ずスタンドにくくりつけましょう。

絶対に灯体だけ吊るしてその場を離れるということはしないでください。重大な事故につながってしまう恐れがあります。

② 灯体と DMX を電源ケーブルで結線（電源の確保）

明かりをつける上で必要な項目の一つです。明かりをいろいろと調整するためにはDMX（ディマー）を使用します。使用する灯体とDMXを仕込み図に沿って電源ケーブルで接続していきます。

② DMX と調光卓をマイクケーブルで結線

次に調光卓で調整した信号（明かり）をDMXに送ってあげるために、マイクケーブルをつかって接続していきます。接続の仕方は直列つなぎとなっています。

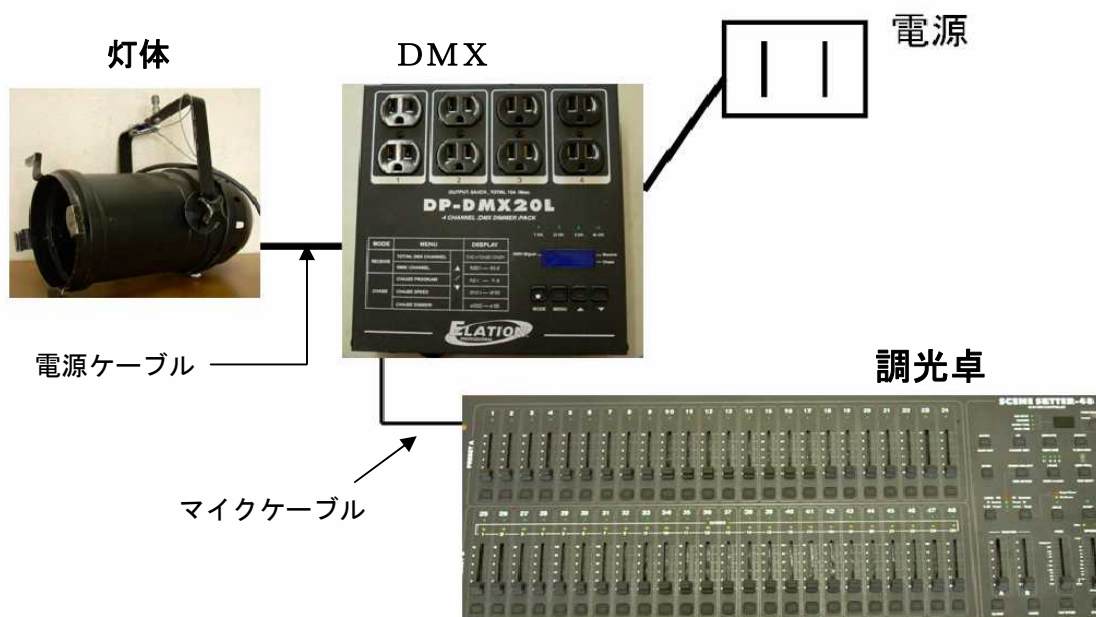
③ DMX と調光卓の電源をオン！

全て接続し終わったらDMXのチャンネル設定を行い、調光卓の電源をいれます。ここで初めて調光卓のフェーダーを使って明かりを操作することができるようになります。

④ 調光卓で操作して光を操る

調光卓のフェーダーで明かりを使えるようになったところで、自分が魅せたい明かりを作っていく、本番時オペレーションをします。

一通り説明したものを図にすると以下のようになります。



※灯体が増えればDMXの数も増えます。

➤ 調光卓

調光卓とは、明かりを調整する機材です。音響卓と同じようにフェーダーを上げ下げすることによって明るさの調整をします。また、多数の明かりを組み合わせで魅せたい明かりをつくることができます。調光卓にはたくさんの機能がついており、様々な場面において大活躍します。

例えば、チカチカさせたい！と思ったら[チェースプログラム機能]というものを使います。

これは自分がいくつか作ったシーンをまとめて調光卓に記憶させる機能のことをいいます。

こういったように魅せる明かりを作る上で調光卓はなくてはならないもののなのです。

※ 調光卓についての詳しい操作方法などは後々説明していきます。

● おわりに・・・今後について

課題 1

なるべくイベントをたくさん見学しに来てください。照明の仕込み方やオペレーションの様子などを見ることができ、とても勉強になるかと思います。今日の内容が理解できていれば、スタッフがどんなことをしているのかが見ていてわかるので、気軽に参加してみてください。もしかしたら、優しい先輩がためになることを教えてくれるかもしれません。

☆ 近々照明スタッフの活躍が見られるイベント

6/2：軽音楽部新入生歓迎ライブ（学校内 場所未定）

6/16、17：劇団こねこめにすたん公演（学校内 講義実験棟一階）

6/23：軽音楽部春定審査ライブ（学校内 場所未定）

課題 2

5、6月中に、07 生は全員、今日説明したような小規模の照明を仕込めるようになって欲しいと思います。なので、時間のある放課後や空き時間には部室に来て、実際に機材をいろいろ使ってみて慣れていってください。必ず先輩が誰かいるので、気軽に声をかけて、教えてもらってください。下の表は参考までに…

♪ 講師部室滞在情報 ♪

	月	火	水	木	金
高相	5 限～	5 限～	3,4 限、放課後	4 限～	5 限～
濱崎	5 限～	不在、	放課後	一日空き	5 限～

※プライベートの事情により、いないこともあるのでご了承ください。

その他連絡など

- はじめての人でもすぐに上達できます！今日の話を聞いてちょっと不安になった人がいるかもしれませんが、安心して、まずは基本から学んでいきましょう。
- とにかく照明は楽しみましょう！実はこれに尽きます。

● 講師への相談、連絡、問い合わせなど

気軽にどうぞ（・ω・）ノ

☆softest-v-yoyo-b-617-a@docomo.ne.jp（携帯メール）

pot617yokotakaso@hotmail.co.jp（メッセアドレス）

高相 陽子（たかそう ようこ）

☆first-come_first-served.selmer@docomo.ne.jp（携帯メール）

hama0910@hotmail.co.jp（メッセアドレス）

濱崎 友里（はまさき ゆり）